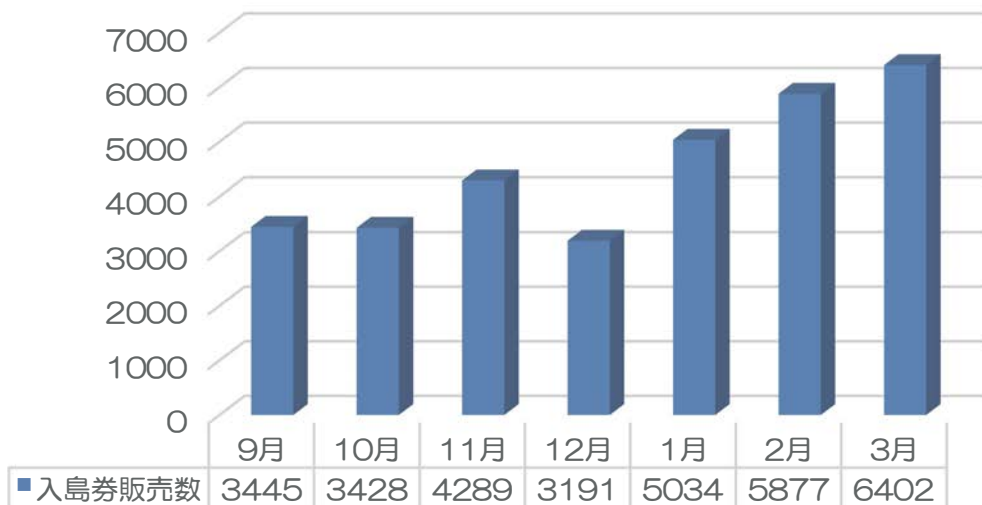


# 06

## 令和元年度入島料收受実績

2019年度の入島料收受実績は下記のようになります。4月以降の收受実績は次号で報告させていただきますが新型コロナウイルスの影響でかなり厳しい状況となっています。收受率UPのため、ご協力をよろしくお願いいたします。

### 入島券販売数



### お知らせ

財団ホームページより令和元年度の年次報告書をご覧ください。財団一年目の活動報告や決算概要、島内賛同事業所/入島券販売取扱事業所一覧などがご覧いただけます。財団のホームページより「財団について」→最下部「プレスリリース」からダウンロードできますので是非ご覧ください。



竹富島 財団



一般財団法人  
竹富島地域自然資産財団

〒907-1101  
沖縄県八重山郡竹富町字竹富 207-1  
TEL:0980-85-2800 FAX:0980-85-2801  
MAIL:info@taketomijima.okinawa



© Maehara Motoo

竹富島では、そんなに遠くない昔。あまり便利とは言えないけれど自然体で暮らせる心豊かな時代がありました。

私たちは入島料で、島がいつの間にか失ってしまったもの、忘れてしまったものを取り戻すべく活動を進めてまいります。

# 01 新年度を迎えて

昨年、5月30日に一般財団法人竹富島地域自然資産財団を設立。そして、9月1日関連省庁を始め竹富島住民のご協力を得て入域料の收受開始をしました。券売機での收受開始なのでどれだけの方が入域料をお支払いしていただけるのか、非常に心配でしたがこれまでのPRの効果もありスタート良く胸をなでおろしました。しかし券売機だけの收受では限界があり港でのアピールと手売り、島の観光関連事業店舗による面前販売を始め、收受率が少しずつ伸びはじめ、これで環境保全事業もできると張り切っていた時に、世の中を騒がせるコロナウイルスの渦に巻き込まれ、入域料の收受はほとんどなくなり、今後がどうなるか心配であります。財団としては入域料の收受だけではなく国や県の補助事業を受け事業費を回しながら活動を行いたいと考えているところであります。財団理事、

職員、地域おこし協力隊員は、より一層竹富島の自然資産を守り100年後も変わらぬ島の環境を目指して参りますので、何卒ご指導ご協力を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。 理事長 上勢頭 篤



# 02 海洋ゴミ学習

海洋ゴミについて、島の将来を担う小学生とともに勉強しました。ゴミが流れ着きやすい北東の海岸で収集。数十分の作業でたくさんのペットボトルが集まりました。バーコードから生産地調査を行ったところ半数が日本、残りが中国と韓国、極少数が東南アジアという結果を得ることができました。今後も島に合った効率的な海洋ゴミ問題の解決を模索し進めていきます。



# 03 粟とハトムギの収穫

昨年末に植え付けをした粟の収穫。ずっしりと重たくなった穂先を刈り取り、幾本かをまとめて束ねて天日に干します。ありがたいことに種子取祭で、奉納される粟として使用してもらえることになりました。また、ハトムギも同時期に収穫できました。



# 04 花城井戸の調査と補修

花城御嶽氏子と作業ボランティアの皆さんと共に花城井戸周辺の生態系調査と除草作業、石碑周りの清掃や石段の補修を行いました。また驚いたことに井戸の底さらいを行ったところ水の湧きだしも確認できました。



# 05 バラアサガオの駆除

以前から調査をしていた外来種のバラアサガオ。御嶽の森を覆いつくし枯らす恐れがあるということで駆除作業を行いました。ツルをたどり、根元近くで切断。根元には周りの植生に影響が少ないことを確認してある爪楊枝タイプの除草剤を打ち込むことで徹底的な駆除を行いました。

